

三高生の自主的な活動

三高生は学業、部活動を主体的に行い、さらに自主的な活動にも取り組む「三高生三本の柱」をめざしています。学業に目標をもって真剣に取り組む「三高型部活動」では生徒主体で短時間集中の活動で目標に向かう高いレベルでの文武両道を実施しています。そして三本目の柱としての自主活動の実施を進めており、それぞれの状況に合わせて、自分の意志で校内・校外を問わず何らかの活動を行うとしています。

「三高みんなの食堂プロジェクト」

生徒が地域の方とともに学食づくり

自主的に集まったプロジェクトリーダーが中心となって様々な活動をし、運営の農業法人（生産者）の方や応援してくれている方々と生徒が力を合わせてよりよい学食にする。その活動を通して、将来に繋がる多くのことを身につけています。

昨年9月に学食をリニューアルし、新たな形としての食堂を再開しています。生徒数の減少や食環境の変化で経営的にも難しい学食を生徒を主役とし、教育や交流の場にもすることで多様な機能をもたせる今までにない取り組みを進めています。

- 生徒が良質で安価な食事を得られる。
- 生徒の多様な活動と学びの場。
- 生徒と地域との交流の場。

このコンセプトで生徒が地域の人の思いや良い食材と接し、この地域の一品であることに誇りをもつ。力を出し合って自ら所属場所をよくするコミュニケーションづくり体験をすることで、将来を担う意識を高めていくことをめざしています。

活動は「プロジェクト」という自分の時間で自主的に参加する形で実施し、リーダーの活動とそれを全校生がそれぞれ可能な形で応援する。授業でも部活動でもない活動と位置付け、自ら出せる力を発揮する場として設定しています。

リーダーはしたいことを考え、総務、広報、畑、メニュー開発、内装、イベント等のチームで活動しています。校内の空地を開墾しての作物作り、毎日の手書きメニューの掲示、独自ホームページの作成、規格外野菜活用のメニュー考案、地域産業の廃棄物である革の端材で暖簾作り、冷凍飲料の仕入販売などを行っています。



昼食時の様子

地元食材の豊富な日替定食

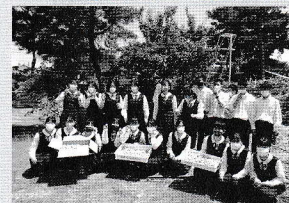
また、このプロジェクトは、SDGsの視点をもつて活動し、地産地消や食品ロスの減少に向けて、規格外野菜の積極的な活用、メニューを日替わり定食と弁当のみの

事前食券制にして無駄を出さないこと等に取り組んでいます。

活動を通して、どんな主体的に活動する姿から、場があれば発揮できる三高生の潜在的な力を改めて感じています。



革の端材を使っの暖簾作成



梅ジュース作成用のウメの収穫

再開にあたり同窓会に照明をLEDライトに変えていただき、PTAに厨房機器の整備など様々な面で多くの方々にご支援いただいています。厳しい状況の中で引受けてくれた農業法人の思いやりある運営のおかげで生徒は地元食材を多く使った栄養バランスの良いものを食べることができています。飲食店の方に三高で食事を提供してもらう「日食堂」、餅つき等のイベント、木のお盆や器の提供、余剰野菜の提供、生徒の指導等で卒業生や地域の方にたいへんお世話になり多くのことを得ています。また、地域の事業所やイベントからの弁当注文をいただき、経営面も含めて良い状態で継続していくためのご支援を頂いていることに感謝しています。

状況が収束すれば地域の方にも食堂を利用していただき交流を深めていくことと、この取組を地域と学校の連携による食のモデルケースとして他にも広めていければとの思いで生徒たちも活動していますので、引き続き応援をよろしく願っています。

「虎丸ゼミ」

放課後や休日に行う自由参加のゼミ

希望生徒が自らエントリーし、各界で活躍されているプロフェッショナルに話を聞かせていただいた後、双方方向に意見交換するゼミです。昨年11月から始め、これまで不定期に11回開催しました。

地域や医療、NPOの活動など内容は多岐にわたり、東かがわ市の協力により、各課との意見交換ができる「シリーズ市役所」も始めています。卒業生では、東かがわ活性隊長で味道源の上原さん、プロ野球選手になつた三好さん、23歳で起業した黒川さん、香川大学生で引田のアートプロジェクトの三谷さんなどが講師として協力してくれています。生徒が講師となつて実施した回もあります。

また、警察の方による鑑識体験など実習を伴うゼミも行い貴重な経験を積んでいます。生徒に日頃意識していない社会の様々な面やわかつているつもりで詳しく知らないことなど、視野を広げ多くのことに触れる機会をたくさん提供していき、自ら積極的に動いて多くのことを感じ取ってほしいと考えています。



三好大倫選手によるゼミ



警察の方による鑑識体験